

入 札 公 告

[特定 J V 対象工事に用(一般競争入札又は総合評価一般競争入札(事前審査方式))]

[~~ゼロ債務負担行為 活用工事~~]

[~~余裕期間 設定工事~~]

[電子契約対象工事]

地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の 6 の規定に基づき、一般競争入札について次のとおり公告する。なお、本入札は、入札公告（共通編）を用いた建設工事の一般競争入札に係る試行要領（以下「試行要領」という。）の対象であり、入札に参加するために必要な資格等については、本入札公告に定めるもののほか、試行要領第 4 条の規定に基づく入札公告（共通編）によるものとする。

なお、本件は~~総合評価一般競争入札（事前審査方式）による工事、ゼロ債務負担行為を活用した工事、余裕期間を設定した工事及び電子契約対象工事~~の入札である。入札にあたっては、本公告~~2(4)、6(1)、6-2、8、9(3)、9(4)~~に留意すること。

公告日：令和 7 年 12 月 11 日

茨城県知事 大井川 和彦

1 担当部局（問い合わせ先）

| | | |
|-------------|--------------------------|---|
| (1) 担当課名 | 茨城県土木部営繕課 | |
| (2) 住所 | 〒310-8555 茨城県水戸市笠原町978番6 | |
| (3) 担当及び連絡先 | (契約担当) 庶務 G | 担当：係長 山崎、主事 森作 電話：029（301）4546 Email：eizen@pref.ibaraki.lg.jp |
| | (工事担当) 建築第 1 G | 担当：課長補佐 市原、係長 戸室 電話：029（301）4556 |

2 対象工事の内容及び入札契約に関する主要な条件

| | |
|-------------------|--|
| (1) 工事番号及び工事名 | 第 07-12-004-6-001 号 県庁舎行政棟外部改修工事 |
| (2) 路河川名及び工事場所 | 水戸市笠原町地内 |
| (3) 工事概要 | 外部改修工事（シーリング改修工事、塗装改修工事） 庁舎（事務所） S 造・SRC 造 25 階建て 延べ面積 81,312m ² 高さ 116 メートル ・建築工事 |
| (4) 工期 | 360 日間 |
| (5) 建設工事の種類（業種区分） | 建築一式工事 |
| (6) 予定価格 | 金 510,224,000 円（消費税及び地方消費税を含む。） |

| | | |
|---|--|---|
| (7) 総合評価方式の適用 | 本工事は、施工計画等に関する技術資料を受け付け、価格以外の要素と価格とを総合的に評価して落札者を決定する総合評価方式（簡易型）の工事である。 | |
| (8) 最低制限価格 | 設定しない | |
| (9) 調査基準価格 | 設定する（特に、この場合における入札・契約の諸条件については、入札公告（共通編）等により確認しておくこと） | |
| (10) 本工事の入札における他工事落札者の参加制限及び他工事の入札における本工事落札者の参加制限 | 有り | ア 本工事の入札は、分割発注・同一工種の工事に係る競争入札であり、以下の順により同日に開札する。 ①第 ー ー ー ー 号 工事 ②第 ー ー ー ー 号 工事 イ 本工事に特定建設工事共同企業体（以下「特定JV」という。）を結成して参加しようとする者は、構成が同一となる特定JVをそれぞれ結成する場合に限り、アに示すその他の工事に対しても、入札参加資格審査申請及び競争参加資格確認申請を行うことができる。 ウ アに示す工事のうち、先行して開札された工事の落札者と同一構成の特定JVは、同日に実施されるその後の分割工事・同一工種の工事の入札に参加できない。この場合においては、既に提出された入札書は開封せず、無効として取り扱う。 |
| | 無し | |
| (11) その他 | <p>ア この工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号）に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。</p> <p>イ この工事は、建設業法（昭和24年法律第100号）第26条第3項第2号の規定の適用を受ける監理技術者（以下「専任特例2号の場合の監理技術者」という。）の配置を認めない工事である。</p> | |

3 競争参加資格

この工事の入札に参加する者に必要な資格は、次のとおりである（全てを満たすこと）。

| | | |
|---|---|--|
| (1) 入札参加資格 | | |
| 2(1)に示す工事の施工を目的として結成された特定JVとして、以下のア～キのいずれも満たし、入札参加資格の決定を受け、建設工事入札参加資格者名簿に登録されている者であること（資格決定に係る申請方法等については、5を参照）。 | | |
| ア 構成員数 | 2者 | |
| イ 出資比率 | 各構成員の出資比率の下限は30%以上、代表構成員の出資比率は全構成員中最大であること。 | |
| ウ 建設業許可 | 全ての構成員が、建築一式工事について、特定建設業の許可を受けているこ | |

| | | |
|---------------------------------|-----------|--|
| | | と。 |
| エ 経営事項審査 | | 全ての構成員が、建築一式工事について、契約締結日から1年7月以内の審査基準日の経営事項審査（建設業法第27条の23第1項に定めるものをいう。）を受けている者であること。 |
| オ 対象工事の設計業務等の受託者との関係（いずれも満たすこと） | | <p>(ア) 対象工事の設計業務等の受託者（以下「受託者」という。）を含む特定JVでないこと。</p> <p>(イ) 受託者と資本又は人事面において関連がある者（※）を含む特定JVでないこと。</p> <p>※：詳細については、入札公告（共通編）による。</p> |
| | 設計業務等の受託者 | 株式会社松田平田設計 |
| カ 各構成員別の基準 | | (2)以降の基準をそれぞれ満たすこと。 |
| キ 共通事項 | | 入札公告（共通編）による。 |
| (2) 代表構成員に係る基準（いずれも満たすこと） | | |
| ア 単体としての入札参加資格（いずれも満たすこと） | | <p>(ア) 建築一式工事について、令和7・8年度茨城県建設工事入札参加資格者名簿に登載された格付けがS等級であること。（かつ、）（一年度）建設工事入札参加資格者名簿に登載された（2(5)に掲げる建設工事の種類※）の（総合点数）・（経営事項評価点数）が、点以上の者であること。</p> <p>（イ）2(5)に掲げる建築一式工事について、令和3・4年度茨城県建設工事入札参加資格者名簿に登載された年間平均完成工事高が予定価格（税抜き）以上の者であること。</p> |
| イ 施工実績（いずれも満たすこと） | | <p>(ア) 同種又は類似工事のうち、平成17年4月1日から令和7年3月31日の期間に竣工した工事を元請として施工した実績があること（共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものに限る。）。</p> <p>① 同種工事は、施工に係る部分がRC造（SRC造を含む。）又はS造で高さ31メートル超の建築物の建築一式工事（新築、増築、改築又は高さ31メートル超の部分を施工した外壁改修工事に限る。）とする。</p> <p>② 類似工事は、施工に係る部分がRC造（SRC造を含む。）又はS造で高さ20メートル超の建築物の建築一式工事（新築、増築、改築又は高さ20メートル超の部分を施工した外壁改修工事に限る。）とする。</p> <p>（イ）茨城県が発注した一件の規模が円以上の（工事の内容）工事のうち、年 月 日から年 月 日の期間に竣工した工事を元請として施工した実績があること（共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものに限る。）。</p> |
| ウ 配置予定技術者（いずれも満たす） | | <p>(ア) 本工事へ専任で配置できること（本工事のみの専任配置とすること。）。)</p> <p>(イ) 一級建築士又は一級建築施工管理技士（これと同等以上の能力を有す</p> |

| | | |
|---------------------------------|--------------------------------------|---|
| | こと) | るものとして国土交通大臣が認定した者を含む。) であること。 |
| | | (ウ) 建設業法第26条第2項に基づき監理技術者として配置される場合は、監理技術者資格者証(2(5)に掲げる建築一式工事に対応するもの)を有し、監理技術者講習を修了している者であること。 |
| | | (エ) 同種又は類似工事のうち、平成16年4月1日から令和6年3月31日の期間に竣工した工事を、元請の主任技術者、監理技術者(特例監理技術者含む)又は現場代理人として施工した経験を有する者であること。ただし、担当技術者を施工経験の実績とする場合は、工事着工から竣工まで当該工事に従事したことがCORINSにより確認できる者のみとする。 |
| | | (オ) 建設業許可における営業所の専任技術者でないこと。 |
| | | (カ) 建設業許可における建設業法施行規則(昭和24年建設省令第14号)第7条第1号に規定する常勤役員等及び当該常勤役員等を直接に補佐する者等(以下「経營業務の管理責任者等」という。)でないこと。 |
| | | (キ) 代表構成員と直接的かつ恒常的な雇用関係があり、競争参加資格確認申請のあった日以前に3月以上の雇用関係がある者であること。 |
| | | (ク) 現在他工事に配置されている主任技術者又は監理技術者若しくは監理技術者補佐にあつては、工期の始期日から配置でき、かつ本工事の着手日から専任で配置できること(工期の始期日から着手日の前日までの期間については、専任での配置を要しない。) |
| | | (ケ) 本工事における配置予定技術者を申請時点で一人に特定できない場合は、複数(3名まで)の者を配置予定技術者とすることができる。この場合、競争参加資格確認資料(様式第2号)及び配置予定技術者評価資料(技術資料における様式第4号)は、すべての配置予定技術者について作成のうえ提出するものとし、配置予定技術者の評価点については各評価項目において最も低い評価を受けたものをもって算定する。なお、落札者は、開札後から契約前までの間に1名を選択するものとする。 |
| | エ 営業所の所在地 | 茨城県内に建設業法に基づく主たる営業所(本店)又は営業所(支店等)があること。 |
| (3) 代表構成員以外の構成員に係る基準(いずれも満たすこと) | | |
| | ア 単体としての入札参加資格(いずれも満たすこと) | <p>(ア) 建築一式工事について、令和7・8年度茨城県建設工事入札参加資格者名簿に登載された格付けがS又はA等級であること。(かつ、) (・年度) 建設工事入札参加資格者名簿に登載された(2(5)に掲げる建設工事の種類※)の(総合点数)・(経營業務評価点数)が、点以上の者であること。</p> <p>(イ) (2(5)に掲げる建設工事の種類)について、(・年度)茨城県建設工事入札参加資格者名簿に登載された年間平均完成工事高が円以上の者であること。</p> |
| | イ 施工実績(いずれも満たすこと) | (ア) (地域名)内において、発注者名)の発注した一件の規模が円以上の(同種又は類似の工事の内容を詳細に)工事のうち、年 月 日か |

| | |
|--------------------------|---|
| | <p>ら____年__月__日の期間に竣工した工事を元請として施工した実績があること（共同企業体の構成員としての実績は、資比率が20%以上の場合のものに限る。）。</p> <p>(イ) 茨城県が発注した一件の規模が____円以上の（工事の内容）工事のうち、____年__月__日から____年__月__日の期間に竣工した工事を元請として施工した実績があること（共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものに限る。）。</p> |
| ウ 配置予定技術者 (いずれも満たすこと) | <p>(ア) 本工事へ専任で配置できること（本工事のみの専任配置とすること。）。</p> <p>(イ) 一級建築士若しくは一級建築施工管理技士（これと同等以上の能力を有するものとして国土交通大臣が認定した者を含む。）又は二級建築士若しくは二級建築施工管理技士の資格を有する者であること。</p> <p>(ウ) 建設業法第26条第2項に基づき監理技術者として配置される場合は、監理技術者資格者証（2(5)に掲げる建築一式工事に対応するもの）を有し、監理技術者講習を修了している者であること。</p> <p>(エ) （発注者名）が発注した（同種又は類似の工事の内容を詳細に）工事のうち、____年__月__日から____年__月__日の期間に竣工した工事を、元請の（主任（監理）技術者、特例監理監理技術者、監理技術者補佐、現場代理人等、詳細に）として施工した経験を有する者であること。ただし、担当技術者を施工経験の実績とする場合は、工事着工から竣工まで当該工事に従事したことがCORINSにより確認できる者のみとする。</p> <p>(オ) 建設業許可における営業所の専任技術者でないこと。</p> <p>(カ) 経營業務の管理責任者等でないこと。</p> <p>(キ) 当該構成員と直接的かつ恒常的な雇用関係があり、競争参加資格確認申請のあった日以前に3月以上の雇用関係がある者であること。</p> <p>(ク) 現在他工事に配置されている主任技術者又は監理技術者若しくは監理技術者補佐にあつては、工期の始期日から配置でき、かつ本工事の着手日から専任で配置できること（工期の始期日から着手日の前日までの期間については、専任での配置を要しない。）。</p> <p>(ケ) 本工事における配置予定技術者を申請時点で一人に特定できない場合は、複数（3名まで）の者を配置予定技術者とすることができる。この場合、競争参加資格確認資料（様式第2号）及び配置予定技術者評価資料（技術資料における様式第4号）は、すべての配置予定技術者について作成のうえ提出するものとし、配置予定技術者の評価点については各評価項目において最も低い評価を受けたものをもって算定する。なお、落札者は、開札後から契約前までの間に1名を選択するものとする。</p> |
| エ 営業所の所在地 | 茨城県内に建設業法に基づく主たる営業所（本店）又は営業所（支店等）があること。 |

4 設計図書の閲覧方法

| | |
|----------------|--|
| (1) 設計図書の閲覧 | <p>ア インターネットによる方法</p> <p>設計図書は、インターネット上に公開するので、次のアドレスからダウンロードすること（入札情報サービス）。</p> <p>URL：http://ppi.cals-ibaraki.lg.jp/ppi.html</p> <p>イ 閲覧による方法</p> <p>(ア) 場所：公共事業情報センター</p> <p>（茨城県水戸市笠原町978番6 茨城県庁舎行政棟1階）</p> <p>(イ) 期間：令和7年12月11日（木）～令和8年2月2日（月）</p> <p>（茨城県の休日を守る条例（平成元年茨城県条例第7号）第1条に規定する県の休日（以下「休日」という。）を除く。）</p> <p>(ウ) 時間：9時から（水曜日のみ10時から）16時まで</p> <p>（正午から13時までを除く。）</p> |
| (2) 設計図書の購入 | <p>（設計図書・図面）は、次の指定印刷店で購入すること。</p> <p>・ 購入期間</p> <p>____年__月__日～____年__月__日（指定印刷店の休日を除く。）</p> <p>・ 購入先</p> <p>指定印刷店 住 所 _____</p> <p>_____ 商号又は名称 _____</p> <p>_____ 電話番号 _____</p> <p>_____ F A X 番号 _____</p> |
| (3) 設計図書に関する質疑 | <p>設計図書に対する質問がある場合は、簡易な内容確認を除き電子入札システムにより行うこと。なお、回答及び閲覧についても、電子入札システムにより行う。</p> <p>（電子入札システムURL：http://ppi.cals-ibaraki.lg.jp/nyusatsu.html）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 質疑受付期間 <p>令和8年1月6日（火）～令和8年1月7日（水）（休日を除く。）</p> <p>いずれも午前9時から午後4時まで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 提出先：担当部局 ・ 回答閲覧期間 <p>令和8年1月28日（水）～令和8年2月2日（月）（休日を除く。）</p> <p>いずれも午前9時から午後4時まで</p> |
| (4) 現場説明会 | 実施しない。 |

5 特定建設工事共同企業体としての入札参加資格審査申請

この工事の入札参加を希望する者（特定建設工事共同企業体）は、あらかじめ建設工事入札参加資格審査申請書（特定建設工事共同企業体用）等を以下の(1)～(8)により提出し、入札参加資格の決定を受け、建設工事入札参加資格者名簿に登載されなければならない。

| | |
|----------|------------------|
| (1) 申請方法 | 郵送による（書留郵便に限る。）。 |
| (2) 提出先 | 1の担当部局 |

確認申請書等を次により提出し、本工事への競争参加資格の確認を受けなければならない。

| | |
|------------------|--|
| (1) 申請方法 | <p>「競争参加資格確認資料」(様式第2号)及び「自己採点表兼評価点算定資料一覧表」(技術資料・様式第1号)については、電子入札システム(※)により申請すること。</p> <p>また、電子契約用メールアドレス確認書(別添様式)に、電子契約の希望の有無及び電子契約用のメールアドレス等を記載すること。</p> <p>※：画像ファイル(.tif)で提出すること。</p> <p>それ以外の資料等については、紙媒体(書留郵便)により申請を行うこととするが、画像ファイル等に変換して提出できる場合(ファイル容量が2メガバイト以内)は、電子入札システムにより提出して差し支えない。ただし、担当部局の了解を得た場合に限り、紙媒体(書留郵便)ではなく、電子メール(画像ファイル)による提出についても可とする。</p> <p>(電子入札システムURL：http://ppi.cals-ibaraki.lg.jp/nyusatsu.html)</p> |
| (2) 申請期間 | <p>ア 受付開始：令和8年1月6日(火)午前9時</p> <p>イ 締切：令和8年1月8日(木)午後4時(必着)</p> <p>※：休日は申請を受け付けない。</p> |
| (3) 申請時の提出書類 | <p>ア 添付の様式「競争参加資格確認資料」(様式第2号)</p> <p>(全構成員について、作成すること。)</p> <p>(承認を受けたうえ紙申請とする場合及び5(7)の場合は、様式第1号についても作成のうえ、併せて申請(提出)すること。)</p> <p>イ 6-2(1)に示す技術資料(総合評価方式関連)</p> <p>ウ 競争参加資格確認資料(様式第2号)2/2面 作成要領2(1)及び(2)の資料</p> <p>エ 必要に応じ、(4)に係る申請書(主任(監理)技術者重複申請書)</p> <p>オ 契約締結(予定)日から1年7月以内の審査基準日の経営事項審査を受審したことを証する書面(全ての構成員に係るものを、書留郵便等により提出すること)</p> <p>カ 電子契約用メールアドレス確認書(別添様式)</p> |
| (4) 配置予定技術者の重複申請 | <p>同一の配置予定技術者により、本工事を含めた複数の工事において参加申請しようとする場合には、以下により申請すること。ただし、2(10)において、本工事の落札者と同一構成の特定JVが入札に参加できないとされている場合又は別の工事の落札者と同一構成の特定JVが本工事の入札に参加できないとされている場合、それら工事に対し、本工事と同一の配置予定技術者により申請しようとするときは、この手続きを要しない。</p> <p>ア この工事の配置予定技術者が、他の工事の配置予定技術者と重複する場合には、主任(監理)技術者重複申請書を提出すること((3)と併せて、申請(提出)すること。)</p> <p>イ 他の工事を落札したことにより、申請した配置予定技術者を本工事に</p> |

| | |
|-------------------------------|---|
| | <p>配置できなくなった場合には、「競争参加資格確認申請書・入札参加申込書取下げ書」を開札日時までに提出すること（紙媒体（※）により提出すること。）。</p> <p>ウ イの提出が入札書の提出後となった場合においては、当該入札は競争参加資格のない者が行ったものとし、無効として取り扱う。</p> <p>※：郵送による場合には書留郵便によること。なお、緊急やむを得ないと認められる場合には、担当部局に電話による連絡をし、取下げ書をファクシミリにより提出した上で、速やかに書面を郵送すること。ただし、担当部局の了解を得た場合に限り、書留郵便ではなく、電子メール（画像ファイル）による提出についても可とする。</p> |
| (5) 提出書類（(3)イの技術資料を含む。）の作成説明会 | <p>実施しない。</p> <p>実施する。</p> <p>——・日時——年——月——日</p> <p>——・場所——</p> |
| (6) 提出書類（(3)イの技術資料を含む。）のヒアリング | <p>実施しない。ただし、提出書類について、説明を求めることがある。</p> <p>実施する。</p> <p>——・日時——年——月——日</p> <p>——・場所——</p> |
| (7) 共通事項 | 入札公告（共通編）による。 |

6－2 総合評価方式に係る技術資料

6の競争参加資格確認申請に併せ、土木部総合評価方式試行要領に基づき、当該工事に関する施工能力等の審査及び価格以外の評価を行うために必要な資料（以下「技術資料」という。）の提出を求める。

| | |
|----------------|---|
| (1) 提出を求める技術資料 | <p>ア 自己採点表兼評価点算定資料一覧表（様式第1号）</p> <p>イ 工事成績評定評価対象工事資料（様式第2号）</p> <p>ウ 施工実績評価資料（様式第3号）</p> <p>エ 配置予定技術者評価資料（様式第4号）</p> <p>オ 施工計画（様式第5号）</p> <p>カ 災害協定に基づく地域貢献実績評価資料（様式第6号）</p> <p>キ 地域活動（ボランティア）実績評価資料（様式第7号）</p> <p>ク 企業の新規雇用実績（様式第14号）</p> <p>ケ 若手技術者の配置（様式第15号）</p> <p>コ 登録基幹技能者の配置（様式第16－1号）</p> <p>サ 災害時の基礎的事業継続力認定資料（様式第17号）</p> <p>シ ICT施工技術の活用計画書（様式第18号）</p> <p>ス 週休2日制工事の施工実績（様式第19号）</p> <p>セ 防疫協定に基づく防疫業務実績評価資料（様式第20号）</p> |
| (2) 提出方法 | 6(1)に同じ。（5の書類と併せて提出すること。） |

| | |
|--------------------|--|
| (3) 提出期間 | 6 (2)に同じ。 |
| (4) 提出した技術資料の変更の可否 | 提出された技術資料の変更は認めない。 |
| (5) 技術資料の評価方法等 | ア 評価点の算定基準は、添付の「評価項目及び評価基準」による。 イ その他の評価方法及び落札者の決定基準については、入札公告（共通編）による。 |
| (6) 競争参加資格に関する事項 | 技術資料の審査結果によっては、競争参加資格を認めないことがある。 |

7 入札手続等

| | |
|-----------------------|--|
| (1) 入札方法 | 原則、電子入札システムにより入札すること。 (電子入札システムURL： http://ppi.cals-ibaraki.lg.jp/nyusatsu.html) |
| (2) 入札期間 | ア 受付開始：令和8年1月29日（木）午前9時 イ 締切：令和8年2月2日（月）午後4時（必着） ※休日は入札を受け付けない。 |
| (3) 入札金額 | ア 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する金額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税に係る課税業者であるか免税業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。 イ 入札者は、その提出した入札書の書換え、引換え又は撤回をすることができない。また、入札金額の入力ミス等の錯誤又は積算ミス等を理由として入札価格の無効の訴えを提起できないものとする。 |
| (4) 入札時の添付書類 | ア 入札書に記載される入札金額に対応した工事費内訳書（入札書の提出と併せて、電子入札システム(※)により提出すること。）。 ※:Excel形式を使用するものとし、「提出用ファイル作成ツール」を使用し、画像ファイル(.tif)に変換して提出する。 イ 入札価格に関する誓約書（別添様式2）（郵送（書留に限る。）等により提出） ウ 該当する場合は、8の調査票（郵送（書留に限る。）等により提出） |
| (5) 競争入札執行（開札）の日時（予定） | 令和8年2月3日（火）9時30分から |
| (6) 入札参加者の立会 | 電子入札のため、入札参加者の立会いは要しない。ただし、入札参加者が立会いを希望する場合は、立ち会うことができる。 |
| (7) 入札参加者が1者のみの場合 | 入札の執行を取り止める。 有効な入札として取り扱う。 |
| (8) 共通事項（落札者の決 | 入札公告（共通編）による。 |

| | |
|-------|--|
| 定方法等) | |
|-------|--|

8 開札後に調査基準価格を下回る額で入札した参加者が提出する資料

| | |
|----------|--|
| (1) 提出書類 | <p>ア 開札の結果、調査基準価格を下回る額で入札し、低入札価格調査制度実施運営要領（以下「低入札要領」という。）第6条第4項に規定する判断基準のうち数値的判断基準に該当しない者に対し、低入札要領第6条第2項に規定する「低入札調査表」、又は「低入札価格調査辞退届出」の提出を求めるので、所定の期日までに担当部局まで提出すること。</p> <p>イ アの提出方法については、原則郵送（書留に限る。）により送付すること。</p> <p>ウ 担当部局の了解を得た場合に限り、イによらず、持参又は電子メールによる調査表の提出も可とする。</p> |
| (2) 留意事項 | <p>(1)アにおいて低入札調査表を提出した場合には、事情聴取を行うので、別途担当部局から連絡する。</p> <p>(1)アにおいて低入札価格調査辞退届出を提出した場合には、当該入札を無効とする。</p> |

9 その他、入札契約に関する諸条件

| | |
|--------------------|---|
| (1) 入札保証金 | 免除する。 |
| (2) 契約保証金 | 納付を要する。ただし、利付国債、利付茨城県債の提供又は金融機関等の保証をもって契約保証金の納付に代えることができる。また、公共工事履行保証証券による保証を付し又は履行保証保険契約の締結を行った場合は、契約保証金の納付を免除する。 |
| (3) 前払金、中間前払金、部分払い | <p>詳細については、入札公告（共通編）による。</p> <p>なお、本件は「債務負担行為」による工事であるが、契約初年度の支払限度額が設定されていない工事である。このため、<u>契約初年度は、前払金、中間前払金及び部分払金の支払請求ができないこと</u>に留意すること。</p> |
| (4) 契約書 | <p>建設工事請負契約書（茨城県建設工事執行規則（昭和43年規則第69号）様式第2号）により、契約書を作成するものとする。</p> <p>なお、落札者は、契約締結までに、<u>工期の始期目を決定し、契約締結までに発注者に別添様式により通知</u>すること（低入札価格調査等により余裕期間内に契約締結ができない場合は不要とする。）。 ただし、電子契約を希望する場合は以下によるものとする。</p> <p>(1) 契約書等の様式を、以下のアドレスからダウンロードして作成し、契約書の案、契約保証金の納付を証する書類の写し又は契約保証金に代わる担保の写し（保証事業会社の保証証書等）及び課税事業者届出書（又は免税事業者届出書）を、落札の通知を受けた日から5日以内（土日及び休日を含まない。）に1に掲げる担当部局へ電子メールで送付すること。</p> <p>なお、回線の不具合等により手続を完了できない場合は、速やかに1に</p> |

| | | |
|---------------------------|--|---|
| | <p>掲げる担当部局まで申し出ること。</p> <p>(2) 契約締結決議終了後、1 に掲げる担当部局からの連絡があるので、落札者（契約の相手方）は電子契約サービスにより契約締結を行うこと。</p> <p>なお、電子契約サービスの使用方法については、以下のアドレスから手順書を確認すること。</p> <p>https://kennsetugyou-ibaraki.jp/electronic_contracting/</p> | |
| (5) 議会の議決 | 不要 | |
| | 要 | <p>この公告に係る契約は、地方自治法（昭和22年法律第67条）第96条第1項に規定する議会の議決を要する。</p> <p>なお、この場合においては、落札者となった者は本県と仮契約を締結することとし、仮契約の相手方が仮契約締結後県議会の議決までの間に競争参加資格の要件を満たさなくなったとき又は県が茨城県建設工事等請負業者指名停止等措置要領に基づく指名停止措置要件に該当すると認めたとき若しくは指名停止措置を行ったときは、県は仮契約を解除することができる。この場合、県は契約解除に伴う損害賠償の責めを一切負わない。</p> |
| (6) 契約の効力 | (5)において、議会の議決が「不要」とされている場合、契約日から本契約とする。 | |
| | (5)において、議会の議決が「要」とされている場合、本工事に係る工事請負契約については、地方自治法第96条第1項第5号の規定による県議会の議決を得た日から本契約とする。 | |
| (7) 建設リサイクル関連 | <p>ア この工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律に基づき、分別解体及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事であるため、設計図書等に記載された処理方法及び処分場所等を参考にしたうえで入札すること。</p> <p>イ 契約に当たり、分別解体等の方法、解体工事に要する費用、再資源化等をするための施設の名称及び所在地、再資源化に要する費用を契約書に記載する必要があることから、落札者は落札決定後に発注者と協議すること。</p> | |
| (8)火災保険付保険の要否 | 要する | |
| | 不要とする | |
| (9) 関連工事の随意契約 予定 | 本工事に直接関連する他の工事の請負契約を、本工事の請負契約の相手方との随意契約により締結する予定 | |
| | | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 有り 無し </div> |
| (10) 調査基準価格の算定 に係る留意事項 | 無し | |
| | 有り | |
| | <p>(1) _____</p> <p>(2) _____</p> | |

| | |
|-----------|---------------|
| | |
| (11) 共通事項 | 入札公告（共通編）による。 |

10 その他

- (1) 入札公告（共通編）については、以下のアドレスに公告する。

URL : https://kennsetugyou-ibaraki.jp/nyuusatsukouoku_kyoutsuu/

※：公告日に応じ、適用となる入札公告（共通編）が変わることに注意。

- (2) 本公告文において、取り消し線〔例：~~入札公告~~〕が付された部分については、入札公告としての効力を有しないものとする。

(様式第 6 号)

評 価 点 の 算 定 方 法

工事名：県庁舎行政棟外部改修工事

【簡易型・県内型・建築工事・登録基幹技能者あり】(1/3)

| 評 価 項 目 | 配点 | 評価基準 | 評価点 |
|---|-------|--|-------|
| ア 工事成績評定 当該発注工事と同一業種の過去の工事成績評定点（共同企業体の構成員の場合は出資比率 20%以上）の平均値（小数点以下第 2 位四捨五入）により評価する。 評価の対象は、 <u>平成 27 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日</u> までに竣工した茨城県土木部発注の 1 千万円以上の 建築一式工事 の工事成績評定点とする。 なお、対象となる工事成績評定点がない場合は、平均値を 65.0 点とみなす。 ※共同企業体にあつては、共同企業体の各構成員全ての評価対象評定点を平均した点数（小数点以下第 2 位四捨五入）によって評価する。 なお、構成員いずれかに評価対象の評定点がない場合は、当該構成員の工事成績評定点を 65.0 点とみなし、平均値を算出する。 | 4.0 点 | 「81 点以上かつ工事件数 5 件以上」 | 4.0 点 |
| | | 「81 点以上」又は 「80 点以上 81 点未満かつ工事件数 5 件以上」 | 3.5 点 |
| | | 「80 点以上 81 点未満」又は 「78 点以上 80 点未満かつ工事件数 5 件以上」 | 3.0 点 |
| | | 「78 点以上 80 点未満」又は 「76 点以上 78 点未満かつ工事件数 5 件以上」 | 2.5 点 |
| | | 「76 点以上 78 点未満」又は 「74 点以上 76 点未満かつ工事件数 5 件以上」 | 2.0 点 |
| | | 「74 点以上 76 点未満」又は 「72 点以上 74 点未満かつ工事件数 5 件以上」 | 1.5 点 |
| | | 「72 点以上 74 点未満」又は 「70 点以上 72 点未満かつ工事件数 5 件以上」 | 1.0 点 |
| | | 「72 点未満」・対象無し | 0 点 |
| イ 企業の施工実績 共同企業体の代表構成員が、同種工事を元請けとして施工した実績（共同企業体の構成員の場合は出資比率 20%以上）により評価する。 評価の対象とする工事は、 <u>平成 17 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日</u> までに竣工した建築一式工事とする。 同種工事は、施工に係る部分が R C 造（S R C 造を含む。）又は S 造で高さ 3 1 メートル超の建築物の建築一式工事（新築、増築、改築又は高さ 3 1 メートル超の部分の施工した外壁改修工事に限る。）とする。 | 2.0 点 | 同種工事の実績有り | 2.0 点 |
| | | 上記以外 | 0 点 |
| ウ 配置予定技術者の施工経験 共同企業体の代表構成員の配置予定技術者が、同種工事又は類似工事を元請けの主任技術者、監理技術者（特例監理技術者、又は専任特例 2 号の場合の監理技術者含む）又は現場代理人として施工した経験（共同企業体の構成員の場合は出資比率 20%以上）により評価する。 評価の対象とする工事は、 <u>平成 17 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日</u> までに竣工した建築一式工事とする。 同種工事は、イ欄の同種工事に同じ。 類似工事は、施工に係る部分が R C 造（S R C 造を含む。）又は S 造で高さ 2 0 メートル超の建築物の建築一式工事（新築、増築、改築又は高さ 2 0 メートル超の部分の施工した外壁改修工事に限る。）とする。 | 2.0 点 | 同種工事の経験有り | 2.0 点 |
| | | 類似工事の経験有り | 1.0 点 |
| | | 上記以外 | 0 点 |

| 評価項目 | 配点 | 評価基準 | 評価点 |
|---|-------|-------------------------------|-------|
| エ 優秀主任（監理）技術者の受賞 配置予定技術者の優秀主任（監理）技術者表彰（茨城県建設業者表彰規程）の受賞の有無により評価する。 評価の対象は、 <u>令和2年度から令和6年度</u> における受賞とする。 | 1.0 点 | 知事表彰又は 企業局長表彰の受賞有り | 1.0 点 |
| | | 受賞無し | 0 点 |
| オ 週休2日制工事の施工実績 茨城県で発注した週休2日制促進工事における施工実績の有無で評価する。 評価の対象は、 <u>令和5年度に竣工、又は令和6年度に繰越し竣工した「週休2日制促進工事」</u> における履行実績取組証がある場合とする。 | 1.0 点 | 履行実績取組証有り | 1.0 点 |
| | | 履行実績取組証無し | 0 点 |
| カ 防疫業務の実績 茨城県と締結している特定家畜伝染病発生時の防疫業務に関する協定に基づき実施した防疫業務の実績の有無により評価する。 評価の対象は、 <u>令和5年度又は令和6年度</u> において発注者が当該業務の事実を証明書類により確認できるものに限る。 | 1.0 点 | 実績有り | 1.0 点 |
| | | 実績無し | 0 点 |
| キ 地域活動（ボランティア）の実績 茨城県内におけるボランティア活動の実績の有無で評価する。 評価の対象は、 <u>令和5年度及び令和6年度</u> において、いずれも実績のある場合で、茨城県が管理する社会資本（道路、河川、公共施設等）の維持管理に関するボランティア活動とする。 また、活動の内容は <u>令和5年度及び令和6年度</u> において、共通のもので無くとも良いが、発注者が当該活動の事実を第三者の客観的な証明書類（協定書、感謝状、新聞記事、主催者の参加証明等）により確認できるものに限る。 | 0.5 点 | 実績有り | 0.5 点 |
| | | 実績無し | 0 点 |
| ク 地域内拠点の有無 工事箇所のある地域に、本店（建設業法に基づく主たる営業所）がある場合に評価する。 | 2.0 点 | 代表構成員が水戸土木事務所管内に本店を有する。 | 2.0 点 |
| | | 代表構成員以外の構成員が水戸土木事務所管内に本店を有する。 | 1.0 点 |
| | | 上記以外 | 0 点 |
| ケ 企業の新規雇用実績 従業員を新たに雇用した実績の有無で評価する。 評価の対象は、 <u>令和5年4月1日</u> 以降に正規雇用（期間の定めのない雇用契約）した従業員を入札公告日まで3ヶ月以上継続雇用している実績が有る場合とする。 また、評価の対象とする従業員は、入札公告日時点で35歳未満の者とする。 なお、前勤務先が新規雇用した企業と同一である者は評価の対象としない。 | 1.0 点 | 雇用実績有り | 1.0 点 |
| | | 雇用実績無し | 0 点 |

| 評価項目 | 配点 | 評価基準 | 評価点 |
|---|-------|--|------------|
| コ 若手又は女性技術者の配置 若手又は女性技術者を当該工事における現場代理人又は主任(監理)技術者として配置の有無で評価する。 評価の対象は、入札公告日時時点で35歳未満の若手技術者、又は女性技術者とし、元請業者と直接的かつ恒常的な雇用関係があり、入札公告日以前に3ヶ月以上の雇用関係がある者とする。 | 1.0点 | 当該業種の主任(監理)技術者の資格を有する若手又は女性技術者を当該工事の主任(監理)技術者又は現場代理人に配置有り | 1.0点 |
| | | 若手又は女性技術者を現場代理人に配置有り | 0.5点 |
| | | 若手又は女性技術者の配置無し | 0点 |
| サ 登録基幹技能者の配置 当該工事で指定した職種の登録基幹技能者を配置する場合に評価する。 評価の対象は、防水、建設塗装又は鳶・土工の登録基幹技能者であり、元請業者又は下請業者が雇用する者とする。 | 1.0点 | 防水、建設塗装又は鳶・土工の登録基幹技能者のいずれかの配置有り | 1.0点 |
| | | 登録基幹技能者の配置無し | 0点 |
| シ 災害時の基礎的事業継続力の認定 入札公告日現在における、国土交通省関東地方整備局長から受けた災害時の基礎的事業継続力(BCP)の認定の有無で評価する。 | 1.0点 | 認定有り | 1.0点 |
| | | 認定無し | 0点 |
| ス 施工計画の評価 次に掲げる施工上の課題に対する留意点とその対策について評価する。 【課題①】品質確保及び工程管理に係る提案 (1) 高所施工場所(仮設ゴンドラ使用)を踏まえた品質確保に関する工夫 (2) 工程管理の合理化や遅延した場合の対策、迅速な変更対応に関する工夫 (3) その他の工夫 【課題②】天候対策に係る提案 (1) 気象の影響を受けやすい当該工事の特性を踏まえた強風・大雨等の気象変動予測や対応に関する工夫 (2) 夏季における熱中症対策※(高所作業員向け)に関する工夫 ※共通仮設費率や現場管理費率に含まれている一般的な熱中症対策(エアコン・冷蔵庫等)や、設計変更対象としているドライミスト・暑さ指数(WBGT値)の計測装置を除く (3) その他の工夫 | 8.0点 | 【1位満点方式】 評価点＝(満点)×(当該競争参加者の採点々数)÷(競争参加者の内の最高の採点々数) (小数点以下第2位四捨五入1位止め) | 満点 8.0点 |
| | | 【不可】と評価された場合は競争参加を認めない。 | 欠格 |
| 合 計 | 25.5点 | | |